

科目名	韓国語ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧愛連		
実施年度	2019年	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン・2年						
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				日常会話だけでなく、就職においても役立つ語学力を習得できる。	
	○	○				韓国語能力試験5級の問題に正答できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期学習分 総おさらい その1					
	2	前期学習分 総おさらい その2 9課へ					
	3	9課 漢数詞					
	4	10課 固有数詞					
	5	漢数詞、固有数詞のまとめ					
	6	11課 尊敬形の学習					
	7	12課 ～行きません否定形					
	8	13課 過去形					
	9	中間まとめ 否定形、過去形					
	10	14課 勧誘の表現					
	11	気候、自然についての単語 15課 現在進行形					
	12	16課 可能、不可能の表現					
	13	16課 続き 身体の名称等					
	14	17課 ～がしたいの表現					
	15	18課 ～してもよいですかの表現					
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 定期試験を実施する。 成績評価基準 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	Excel 演習						
科目名(英)	Excel						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	企業で最も使われているソフトの1つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2016」を使ってそれらの機能について基礎的な操作だけでなく、やや高度な機能まで学習する。テキストの内容対して授業時間数が短いので、教科書に載っている一部の機能は割愛する。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Excelで作成ができ・印刷について正しく操作できる。	
	○					Excelでグラフの作成と編集ができる。	
	○					Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。	
○	○		○			IFやVLOOKUP等の応用のページに記載されている関数を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Excel2016						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Excelの概要、データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成、データのコピー、練習問題				テキスト記載の実習問題1~4の表作成を完成させる	
	3	基本のグラフ作成、練習問題				テキスト記載の実習問題1~4のグラフ作成を完成させる	
	4	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)				テキスト記載の実習問題7~10を完成させる	
	5	セルの書式設定・絶対参照を使う計算				テキスト記載の実習問題11~12を完成させる	
	6	関数(Σから選べる関数)・COUNTA関数・セルの保護				テキスト記載の実習問題13~16を完成させる	
	7	端数処理の関数、IF関数、条件付き書式、スパークライン				テキスト記載の実習問題17~20を完成させる	
	8	第8章Excelの応用に記載の関数の一部・練習問題				テキスト記載の実習問題37~40を完成させる	
	9	グラフ作成(棒・折れ線・円)				テキスト記載の実習問題21~26を完成させる	
	10	グラフ(3Dグラフ、複合グラフ)				テキスト記載の実習問題27~29を完成させる	
	11	グラフ(ドーナツ、レーダー、散布図、絵グラフ) データベース(オートコンプリート、ふりがな機能)				テキスト記載の実習問題30~32を完成させる	
	12	データベース(並べ替え・フィルタ)					
	13	印刷の設定、練習問題					
	14	練習問題					
15	期末試験実技						
評価方法	(1)授業内容が把握できているかを確認する小テストを2回実施する。(2)テキスト「30時間でマスター Excel2016」内の実習問題を仕上げる。(最終授業終了時にメモリ提出)(3)実技問題を期末試験とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実技	○	◎	○			50%
	小テスト	○	◎	○			25%
	(2)課題提出		◎	○	◎		25%
履修上の注意	5回以上の授業出席者は評価対象となるため、早期出社等で6回目以降の授業に出ない学生は、最終出席日にメモリを提出すること。 出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。						

科目名	プレゼンテーション演習						
科目名(英)	Presentation						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	プレゼンテーションソフトであるPowerPointの操作方法を学習する。スライドの作成では、「年次に学んだWordの機能や後期に並行して学んでいるExcelの機能が利用できる部分が多いが、PowerPoint特有の機能もあるので、正しい操作方法を習得するようにする。別日に設けられている授業で作成している卒業論文をスライド化し発表する。プレゼンテーションとは実際の発表を含めて総合的なスキルが必要なので、立ち居振る舞い・発声・表情に至るまで入念なりハーサルを行う。最終の2回の授業中に卒業論文のプレゼンテーション発表会を行う。						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				目録		
	○				文字データを中心としたスライドを作成することができる。		
	○				グラフや表、スマートアートなどのオブジェクト類をスライドに挿入することができる。		
	○				アニメーション機能を効果的に使うことができる。		
○	○		○		複雑な画像の加工や動画の挿入と編集ができる。		
○	○		○		独自のプレゼンテーションを作成し、相手に伝わるように発表する。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Power Pointの基礎知識、基本的なプレゼンテーションの作成					
	2	表の作成、グラフの作成					
	3	図形の作成、Smart Artグラフィックの作成					
	4	図・クリップアート・ワードアートの挿入					
	5	アニメーション、画面の切り替え					
	6	練習問題(提出課題)					
	7	画像の加工					
	8	マルチメディアの活用					
	9	卒論プレゼンテーション作成_プレゼンテーション作成のポイント					
	10	卒論プレゼンテーション作成_発表に使える機能・データ収集					
	11	卒論プレゼンテーション作成_データ収集・作成					
	12	卒論プレゼンテーション作成_仕上げ					
	13	卒論プレゼンテーション作成_仕上げ					
	14	卒業論文をプレゼンテーション発表					
15	卒業論文をプレゼンテーション発表						
評価方法	後期前半ではスライドの作り方を学習するので、その成果として練習問題を完成させデータで提出する。後期後半では卒業論文をPowerPointでプレゼンテーションデータとして作成し発表するので、発表内容をデータと実際の発表で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題(練習問題)作成		◎		◎		50%
	プレゼンテーション作成・発表	○	◎		◎		50%
履修上の注意	5回以上の授業出席者は評価対象となるため、早期入社等で6回目以降の授業に出ない学生は、最終出席日にメモリを提出すること。						
	卒業論文の授業が別に設けられているので、早いうちにテーマと流れを決め文章作成と並行してプレゼンテーションを作成できるようにする。 出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。						

科目名	接客手話ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	平嶋 光希		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	手話基礎編 具体的な表現を学び、豊かなコミュニケーションを身に付ける。実践的な手話表現の習得。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					聴覚障がいの基礎知識	
	○					聴覚障がいの生活	
		○				手話基礎	
テキスト・教材 参考図書	手話で学ぼう手話で話そう / 手話技能検定(4, 5級) / 接客手話						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の復習				基礎的な表現の復習	
	2	チェックイン業務に挑戦				今までの手話を復習	
	3	チェックイン業務に挑戦				今までの手話を復習	
	4	自分の事を話してみよう				自己紹介をまとめる	
	5	自分の事を話してみよう					
	6	得意な事を話してみよう				自分の得意な事をまとめる	
	7	得意な事を話してみよう					
	8	好きな事を話してみよう				自分の趣味や好きな事をまとめる	
	9	好きな事を話してみよう					
	10	仕事の話話を話してみよう				自分や家族の仕事についてまとめる	
	11	仕事の話話を話してみよう					
	12	日常生活の事を話してみよう				昨日、今日、明日の事をまとめる。(時間軸での会話)	
	13	日常生活の事を話してみよう					
	14	物語を読んでみよう				簡単なインソップ物語を選ぶ。	
15	後期 まとめ				前期 後期の表現を使い スピーチに挑戦		
評価方法	授業中の小テスト/実技により下記の観点、割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(読み取り)5回	○	○				30%
	小テスト(実技)6回		◎		◎		60%
	その他				○		10%
履修上の注意	項目とは別に接客手話も実践していきます。手話技能検定4級についても学習します。						

科目名	中国語ⅡB								
科目名(英)									
単位数	2		時間数	30		担当者	王		
実施年度	2019		実施時期	後期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年								
授業概要	簡単な例文を朗読で大量に学ぶことで、無理なく楽しく文法を再確認しながら、活用できる表現の幅を広げていく。単語、フレーズ、文章、伝達しようとする内容が中国語で自然に口をついて出てくるようになることを目標とします。								
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○	○				中国語語彙を増やし、文法を理解できるようになる			
	○	○	○			簡単な日常会話ができる			
テキスト・教材 参考図書	中国語ははじめての一步								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	動詞のおさらいと形容詞を述語とする文 比較文など							
	2	形容詞の単語をマスターして、会話をする							
	3	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる							
	4	第5課 日付 時刻を表す表現 疑問詞							
	5	前時振り返り 一日流れの単語を中国語で言ってみよう							
	6	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる							
	7	中国語で私の一日を発表すると質問タイム							
	8	小テスト 第6課文法ポイントをまとめる							
	9	前回の復習 助動詞を使う表現							
	10	単語で文を作って会話、本文の解釈と朗読							
	11	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる							
	12	小テスト 中国語で感想を言ってみる							
	13	第5課と第6課を復習 プリント							
	14	口頭試験							
15	学科総括								
評価方法	(1)口頭試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験(口頭試験加味)	○	○	○			100%		
履修上の注意									

科目名	一般教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年生						
授業概要	社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめ						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することが出来る	
	○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きが出来る	
	○					英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
	○					四則演算と基礎的なSPI問題に正確に解答することが出来る	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要説明、第1回(国際機関とその活動、世界遺産)			次回学習部分に目を通しておくこと		
	2	第2回(英文空所補充、英日ことわざ)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	3	第3回(英文空所補充、SPI問題)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	4	第4回(漢字の知識、名数、歴史)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	5	第4回(英文空所補充、SPI問題)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	6	第5回(漢字の知識、読解問題、経済)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	7	第6回(漢字の知識、SPI問題、英文和訳)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	8	テスト(第1回～第6回)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	9	第7回(漢字の知識、産業、英文空所補充、SPI問題)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	10	第8回(漢字の知識、歴史、英文空所補充)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	11	第8回(SPI問題、政治)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	12	第9回(漢字の知識、政治、英文和訳)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	13	第9回(SPI問題、経済)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	14	第10回(漢字の知識、読解問題、環境問題)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
15	まとめ(第7回～10回)						
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)出席状況と授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					80%
	小テスト				◎		10%
	宿題・レポート	○			○		10%
	発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、試験受験資格なしとする						

科目名 Subject Name	English Conversation II B						
科目名(英) Same as Above	English Conversation II B						
単位数 Credits	2	時間数 Hours	30	担当者 Instructor	Keith Kelly, Ian Dagnall, Jason Heliopoulos, Andrew Highcock, Scott Anthony Newby, Eoghan Mac Coille		
実施年度 Year	2019	実施時期 Semester	後期	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area			
対象学科・学年 Class	Airline 2						
授業概要 Subject Description	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形式 Class Format	講義: Lecture	△	演習: Practice	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets	
	○	○				Raise students' English proficiency	
	○	○		○		Give students more confidence in using English	
	○	○				Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Elementary Book 2						
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents				授業外学修指示 Preparation and Review	
	1	Introductions / Summer Vacation				none	
	2	9.3 Sorry I'm Late				Preview lesson materials and review previous lesson	
	3	9.4 Teacher's Lesson or Airport				Preview lesson materials and review previous lesson	
	4	9.5 Review				Preview lesson materials and review previous lesson	
	5	10.1 Life's a Lottery				Preview lesson materials and review previous lesson	
	6	10.2 Survive!				Preview lesson materials and review previous lesson	
	7	10.3 Let's do Something				Preview lesson materials and review previous lesson	
	8	Teacher's lesson or 10.4 Wild Weather				Preview lesson materials and review previous lesson	
	9	10.5 Review				Preview lesson materials and review previous lesson	
	10	11.1 My Head Hurts				Preview lesson materials and review previous lesson	
	11	11.2 Never Felt Better				Preview lesson materials and review previous lesson	
	12	11.3				Preview lesson materials and review previous lesson	
	13	Review and Practice for Speaking Test				Preview lesson materials and review previous lesson	
	14	Speaking Test				Preview lesson materials and review previous lesson	
	15	Christmas Lesson				Review previous lesson material	
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
	宿題・レポート Assignment/Report						
	発表・作品 Presentation/Works						
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	実用英語ⅡB						
科目名(英)	Practical English ⅡB						
単位数	6	時間数	90	担当者	山下満里		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年生						
授業概要	エアライン業界にて必要な英語力の基盤を作る。具体的な方法としてTOEICを受験する。語彙力をつけるため毎回の単語のテストを行う。基本の文法を習得し読解力をつける。TOEIC対策としては語彙の増強、パートごとの対策。TOEICの英語をビジネスの現場で使える英語とする。TOEIC 500 を確実に超えるための基礎力をつける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○		○		目標		
	○				語彙力の増強		
	○				Listening力		
	○				基本の文法		
					読解力		
					TOEICストラテジー		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人 国際コミュニケーション協会 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4 桐原書店 TOEIC L&R テスト 書き込みドリル【全パート入門編】スコア500 朝日新聞出版 TOEIC L&R TEST 出る特急金のフレーズ 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	公式問題集 4 Test 1 Listening Part					
	2	公式問題集 4 Test 1 Readinging Part			毎回単語のテスト実施		
	3	Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	4	Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	5	Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	6	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	7	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	8	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	9	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	10	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	11	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	12	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	13	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	14	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	15	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	16	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	17	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	18	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	19	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	20	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	21	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	22	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	23	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施		
	24	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage	毎回単語のテスト実施		
	25	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage	毎回単語のテスト実施		
	26	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage	毎回単語のテスト実施		
	27	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage	毎回単語のテスト実施		
	28	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施		
	29	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施		
	30	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施		
	31	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施		
	32	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施		
	33	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施		
	34	Listening Part 1	Reading Part 6		毎回単語のテスト実施		
	35	Listening Part 2	Reading Part 5		毎回単語のテスト実施		
	36	Listening Part 3	Reading Part 7		毎回単語のテスト実施		
	37	Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語のテスト実施		
	38	公式問題集 3 Test 1	Listening		毎回単語のテスト実施		
	39	公式問題集 3 Test 1	Reading		毎回単語のテスト実施		
	40	公式問題集 3 Test 2	Listening		毎回単語のテスト実施		
	41	公式問題集 3 Test 2	Reading		毎回単語のテスト実施		
	42	公式問題集 4 Test 1	Listening		毎回単語のテスト実施		
	43	公式問題集 4 Test 1	Reading		毎回単語のテスト実施		
	44	公式問題集 4 Test 2	Listening		毎回単語のテスト実施		
45	公式問題集 4 Test 2	Reading		毎回単語のテスト実施			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
	小テストや授業態度	◎	○		○		5%
履修上の注意	前期の欠席回数が15回までは、前期期末試験を受験できる。						

科目名	実用英語ⅡB				
科目名(英)	Practical English ⅡB				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	玉川 久美子
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
目標					
文法、語法、語彙を学び、文章中の情報をもとに構文を理解することができる。					
英語を聴くことに慣れ、意味を聞き取り、特定状況の中で使われるフレーズを学んでいく。					
ビジネスの背景知識を身につけるためにも日頃から新聞、ニュースに触れることで、知識や一般常識を活用できるようにする。					
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集 ・TOEICリーディング問題集 ・TOEICリスニング問題集 				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	文章中の情報をもとに構文ポイントを理解—リスニング、語彙、品詞			学んだ問題の見直しをすること。
	2	構文ポイントの理解—主述の一致、格、時制、態、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。
	3	構文ポイントの理解—前置詞、接続詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。
	4	構文ポイントの理解—準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			学んだ問題の見直しをすること。
	5	構文ポイントの理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。
	6	構文ポイントの理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。
	7	構文ポイントの理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。
	8	構文ポイントの理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。
	9	構文ポイント理解—語法、構文、比較、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。
	10	構文ポイントの理解—関係詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。
	11	構文ポイントの理解—情報を関連づけての読み取り			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。
	12	リスニング、長文読解—情報を関連づけての読み取り			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。
	13	リスニング、長文読解—情報を見つけて意味を理解できる			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。
	14	リスニング、長文読解—同義語を理解して言い換え表現ができる			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。
	15	分野別問題答練—Part1、2、5、6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。
	16	分野別問題答練—Part1、2、5、6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。
	17	分野別問題答練—Part3、5、6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。
	18	分野別問題答練—Part3、7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。
	19	分野別問題答練—Part3、7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。
	20	分野別問題答練—Part4、7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。
	21	分野別問題答練—Part4、7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。
	22	分野別問題答練—Part1、2、5、6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。
23	分野別問題答練—Part1、2、5、6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	

	24	分野別問題答練—Part3、5、6	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。				
	25	分野別問題答練—Part3、7	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。				
	26	分野別問題答練—Part3、7	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。				
	27	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	28	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	29	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	30	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	31	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	32	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	33	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	34	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	35	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	36	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	37	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	38	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	39	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	40	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	41	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	42	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	43	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	44	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	45	まとめ&質疑応答	確認テスト実施、事前の勉強をしておくこと。				
評価方法	(1)授業の中で語彙テストを実施する。(2)課題を与える。(3)中間テストを実施する。(4)期末試験(筆記)を実施する。以上の観点、割合から総合評価する。 成績評価基準は内規に準ずる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	語彙テスト	○					
	中間テスト	○	○				
	期末試験	○	○				
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 II B						
科目名(英)	Practical English II B						
単位数	6	時間数	90時間	担当者	村上 舞		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	1 英文法、基礎構文を理解する 2 英検2級レベルに合格する英語運用能力を身につける 3 TOEIC500点以上のスコアを目指す						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			英文法を理解することで、英検2級レベルの読解力を身に付ける。		
	○	○			会話、アナウンスの聞き取りをし、英検2級レベルのリスニング力を身に付ける。		
	○	○			基本構文を用いた文章作成をし、英検2級レベルの英作文を書けるようにする。		
	○	○			ビジネス英語の基本語彙を身に付け、問題を解くことで450点レベルの読解力を身に付ける。		
○	○			TOEICリスニングの解法を身に付け、TOEIC450点レベルのリスニングの問題が解けるようになる。			
テキスト・教材 参考図書	英検2級過去問題集 TOEICリーディングストラテジー、TOEIC公式問題集など						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	英検2級チェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	2	英文法① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	3	英文法② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	4	英文法③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	5	重要名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	6	重要名詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	7	重要動詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	8	重要動詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	9	重要形容詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	10	重要副詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	11	覚えておきたい接頭語、接尾語 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	12	重要前置詞とフレーズ① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	13	重要前置詞とフレーズ② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	14	重要前置詞とフレーズ③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	15	重要前置詞とフレーズ④ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	16	不定詞と動名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	17	関係詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	18	ライティング対策① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	19	ライティング対策② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	20	中間テスト			テスト範囲をしっかりと勉強して試験対策を行うこと。		
	21	英検2級振り返り TOEICチェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	22	TOEIC対策 品詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	23	TOEIC対策 品詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	24	TOEIC対策 品詞③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	25	TOEIC対策 代名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	26	TOEIC対策 関係代名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	27	TOEIC対策 関係代名詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	28	TOEIC対策 接続詞、前置詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	29	TOEIC対策 接続詞、前置詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	30	TOEIC対策 動詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	31	TOEIC対策 動詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	32	TOEIC対策 表、用紙 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	33	TOEIC対策 手紙、Eメール リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	34	TOEIC対策 広告 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	35	TOEIC対策 ダブルパッケージ① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	36	TOEIC対策 ダブルパッケージ② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	37	TOEIC対策 part5演習① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	38	TOEIC対策 part5演習② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	39	TOEIC対策 part5演習③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	40	TOEIC対策 part6演習① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	41	TOEIC対策 part6演習② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	42	TOEIC対策 part6演習③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	43	TOEIC対策 part7演習① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	44	TOEIC対策 part7演習② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
45	TOEIC対策 part7演習③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				45%
	宿題・レポート	◎	○		○		5%
発表・作品							
履修上の注意							

科目名	社会教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	安元・瀧口・村上舞		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	出前講座を通し、社会人として必要とされる教養を身に付ける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		社会人として必要とされるマナーを学ぶ。	
				○		社会人として必要とされる知識・教養を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	動機付け・後期の目標設定				特に無し	
	2	出前講座(SMBC 家計管理について)				特に無し	
	3	出前講座(SMBC カードトラブルについて)				特に無し	
	4	出前講座(福岡市 選挙について)				特に無し	
	5	出前講座(福岡市 食品について)				特に無し	
	6	出前講座(救命救急講習)				特に無し	
	7	学内講座(卒論について)				特に無し	
	8	スケート(パピオアリーナ)				特に無し	
	9	ボーリング(博多スターレーン)				特に無し	
	10	福太郎 明太子工場見学(福太郎 明太子工場)				特に無し	
	11	大宰府散策(大宰府天満宮)				特に無し	
	12	裁判傍聴(福岡地方裁判所)				特に無し	
	13	学内講座				特に無し	
	14	学内講座				特に無し	
	15	まとめ・目標設定の振り返り					
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席率、レポート課題		○		◎		100%
履修上の注意	予定は変更する可能性もあります。						

科目名	総合英語Ⅱ B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	この授業では、前期に学んだ基本5文型や品詞への理解をより深め、それらを活用して問題を解いていく。さらに、各パート問題に対するアプローチの方法を知り、時間内に正確に解答を導き出す力を養う。また、空港や機内でサービスする際に使用する接客英語にもふれ、実際に業務を行う際にスムーズな対応ができるよう学んでいく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。	
		○				基本5文型を理解し、英文を正しく解釈して意味をとることができる。	
			○			TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。	
				○		TOEIC550点以上のスコアを取得できる。	
				○		空港や機内で使用する接客英語のフレーズを覚え、ロールプレイができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:旺文社「とってもやさしい英文解釈」、アルク「TOEICに出る英文法出るとこだけ!」など						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	4大品詞(名詞・動詞・形容詞・副詞)の役割、基本品詞問題演習			前期の授業内容を復習しておくこと。		
	2	本動詞と主語・動詞の対応			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	3	時制把握のルールと動詞選択			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	4	動詞選択問題の演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	5	接続詞と前置詞の違い			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	6	接続詞・前置詞選択問題の演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	7	Part5問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	8	名詞の働きをするカタマリ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	9	形容詞の働きをするカタマリ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	10	副詞の働きをするカタマリ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	11	Part5問題演習のまとめ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	12	空港・機内で使用する接客英語 ①チェックイン			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	13	空港・機内で使用する接客英語 ②アナウンス			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	14	空港・機内で使用する接客英語 ③機内サービス			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
15	後期まとめ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				50%
履修上の注意	英語辞書、プリント用ファイルを準備しておくこと。						

科目名	総合英語ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	英語の基礎となる文法を習得し、航空業界で必要な語学力を身に付ける。 前期に身に付けた文法の復習や応用、新たな文法を習得することで英検2級の合格を目標として進めていく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					時制を理解し、日本語とは少し異なる時間の捉え方を学ぶことで英文を正しく理解することができる。	
	○					修飾の表現を理解し、英文を詳しく丁寧に相手に伝えることができる。	
	○					様々な表現方法を学び、表現の幅を広げ応用させることができる。	
	○					英検2級を取得することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:高校英文法をひとつひとつわかりやすく						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期授業復習問題				前期で学んだ内容を復習し授業に臨むこと。	
	2	助動詞の表現(応用編)				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	3	前置詞まとめ				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	4	現在完了形				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	5	過去完了形				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	6	未来完了形				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	7	完了形まとめ問題、採点、解説				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	8	現在進行形、過去進行形、未来進行形				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	9	進行形まとめ問題、採点、解説				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	10	名詞のかたまりを作る接続詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	11	副詞のかたまりを作る接続詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	12	接続詞まとめ問題、採点、解説				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	13	空港で使える表現(単語編)				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	14	空港で使える表現(会話編)				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
15	後期まとめ				復習を必ず行い授業に臨むこと。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				50%
履修上の注意	各授業の復習をしっかり行うこと。英語辞書を持参すること。						

科目名	総合英語 IIB						
科目名(英)	General English IIB						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 正雄		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	英語の仕組みを平易な切り口で説明し、英文法の基礎知識習得を目標とする。検定取得、TOEICスコアアップ、会話力向上のための英語の基礎力（語彙力、文法力）を養成し、品詞確認と英作文に取り組み英語の運用能力を高める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。	
	○	○				5文型を使い分けすることができる。	
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	総合英語フォレストを基にした学習プリント						
科目概要 授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	その1 時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	2	その2 完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	3	その2 完了形 つづき			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	4	復習 その1 時制・その2 完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	5	その3 助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	6	その3 助動詞 つづき			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	7	復習 その3 助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	8	その4 受動態			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	9	その4 受動態 つづき			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	10	復習 その4 受動態			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	11	その5 不定詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	12	その5 不定詞 つづき			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	13	復習 その5 不定詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	14	実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
15	前期の総復習			前回の復習を行って授業に臨むこと			
評価方法	1) 定期試験(筆記)を実施する。 2) 検定を受験する。 3) 確認テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
検定取得状況	◎	○				50%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	茶道						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	古田 時枝		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	茶道を学ぶ事で日本人としての感性と、所作を身につけ、社会人として基本的な作法を実践できるようになる。						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○	○	日本人としての感性を磨く。	
		○	○	○	○	社会人としてのマナー、所作を身に付ける。	
		○	○	○	○	茶道の基本的な作法を理解し実践できる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション:和室での基本動作					
	2	席入り 茶菓の頂き方 割り稽古 袱紗					
	3	席入り 割り稽古 袱紗 茶巾					
	4	席入り 割り稽古 袱紗 茶巾 盆略点前					
	5	席入り 割り稽古 袱紗 茶巾 盆略点前					
	6	席入り 割り稽古 袱紗 茶巾 盆略点前					
	7	席入り 盆略点前					
	8	席入り 盆略点前					
	9	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い					
	10	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い					
	11	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い					
	12	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い					
	13	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い					
	14	席入り 初釜					
15	まとめ、全体の流れを復習 実技テスト						
評価方法	出席率、態度・意欲、実技試験にて評価を行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席率、態度・意欲、実技試験		○	○	○	○	100%
履修上の注意							

科目名	ビジネス実務							
科目名(英)								
単位数	2	時間数	30	担当者	未定			
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	エアライン科2年							
授業概要	就業を目前に、現場に適応した具体的かつ上級のマナーとビジネス知識を習得する。							
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○		○		社会に適応したマナーを身に付ける。		
	○	○		○		ビジネス知識を習得する。		
テキスト・教材 参考図書	「実践ビジネスマナー」、プリント他							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	話し方 好印象の話し方 働くということ(労働者の権利と義務, 離職の際に必要なこと 他)						
	2	新生活に向けて お金の知識(給与の仕組みと税金の知識)						
	3	敬語 敬語上級編						
	4	クレーム処理 難しいお客様対応, クレームの基本対応						
	5	電話応対① 電話応対 実践編						
	6	電話応対② 電話応対 実践編 伝言メモ						
	7	指示の受け方と対人コミュニケーション						
	8	職場の人間関係						
	9	報告・連絡・相談①						
	10	報告・連絡・相談②						
	11	ビジネス文書① 業務日報・報告書・メール・FAXの書き方						
	12	ビジネス文書② 社外・社交文書の書き方, 郵便・配送の知識						
	13	冠婚葬祭のマナー						
	14	社交マナー 個人宅訪問のマナー, お付き合いのマナー						
	15	キャリアプラン						
評価方法	定期末試験、出席率や意欲態度などで評価を行う。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	○	○				60%	
	出席率、提出物状況		○		○	○	40%	
履修上の注意								

科目名	業界研究						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	16	担当者	該当学生担任		
実施年度	2019	実施時期	8月	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	空港実習の代替補講として、航空業界/空港の知識を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				空港・航空会社に関してレポートを記入し、知識を深める。	
		○				グランドスタッフの基本業務を理解する。	
テキスト・教材 参考図書	プリント、業界関連本「AIR STAGE」「AIRLINE」等						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要説明、航空業界グランドスタッフ業務について					
	2	レポート作成(航空業界の歴史について)①					
	3	確認テスト(2レター、3レター) レポート作成(航空業界の歴史について)②					
	4	レポート作成(福岡空港について)①					
	5	確認テスト(略語) レポート作成(福岡空港について)②					
	6	レポート作成(グランドスタッフの業務について)①					
	7	レポート作成(グランドスタッフの業務について)②					
	8	確認テスト(敬語)、まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	出席率、レポートの提出状況、確認テストの結果にて評価を行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席率、レポート、確認テスト	○	○		○		100%
履修上の注意	レポート:形式自由、A4サイズ6枚+所感1枚						

科目名	卒業研究						
科目名(英)	Graduation thesis						
単位数	1	時間数	16	担当者	瀧口・村上・安元		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	就職する業界に沿ったテーマ若しくは研究を深めたいテーマを決め、論文を作成する。2年間の学習成果の総まとめとなる様、知識を深め発表を行う。						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				定めたテーマに沿って分析・考察することができる。	
	○	○				論文として成立するよう、定められた文書の形に添って自分の意見をまとめて述べる ことができる。	
	○		○	○		効果的なプレゼンテーションをすることができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業の説明、注意事項			卒論のテーマ決定		
	2	卒論作成①			卒論の作成		
	3	卒論作成②			卒論の作成		
	4	第1回卒論ドラフト提出、添削後に訂正			提出用卒論ドラフトの作成		
	5	卒論作成③			卒論の作成		
	6	第2回卒論ドラフト提出、添削後に訂正			提出用卒論ドラフトの作成		
	7	卒業研究発表会①			発表準備		
	8	卒業研究発表会②、卒論最終提出			発表準備		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	出席率、卒論の提出(途中経過報告を含む)で評価を行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席率・卒論・発表	○	○	○	○		100%
履修上の注意	提出物 * 卒業論文 …… A4用紙に10枚以上(表紙・画像や図表はカウントしない)						